

# より良い有田市をめざして 〜アロマなアリダ〜



爽やかな心地よい風が薫る季節、各地域ではさまざまな花々が咲き競うかのようにまちを彩り、その美しい風景は私たちの気持ちを和ませてくれます。

先月は、除虫菊やみかんの花が見ごろの時期で、わがまちでも各種イベントが開催されました。「みかんの花街道ウォーク」では、参加者231名中185名の方が市外、県外からお越しいただき、多くの皆様方が有田市の初夏の花々を満喫されたのではないのでしょうか。

また、この季節は各種団体の総会など多い時期であり、市民の皆さんと接することも多く、そんな機会を通じて意見交換をさせていただくのを楽しみにしながら公務にあたっています。

そんな中、先月中頃、東京出張で早朝から慌ただしく家を出発し、とんぼ返りで帰宅したのは午前0時過ぎ。さすがに少し疲れを感じながら車を降りた瞬間、私を出迎えてくれたのはみかんの花の甘酸っぱい、わがまちならでは初夏の香りでした。何ともいえない心地よいこの香

りに心が和み、安心感を覚えながら「今日も一日お疲れ様」そう自分に語りかけました。

ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、アロマの精油にみかん（ビターオレンジ）の花から抽出される香りがあり、ネロリと呼ばれています。17世紀、イタリアの小国、ネローラ公国のマリー・アンヌ王妃が、そのフローラルな香りに魅了されて、その精油成分を手袋に浸みこませて使用したことにより、フランス社交界に広まりました。そのため、その香りを「ネロリ」と呼ぶようになったそうです。ネロリは天然の精神安定剤と言われるぐらい心に強く働く香りです。心を安定させ前向きな状況へと力を与えてくれるといわれています。

そんな初夏のわがまちならではの香りに包まれ、あらためて感慨深く思ったのと同じに、その素晴らしさを当たり前のこととして見落としてしまっていたのでは…と少し反省しました。

まちづくりも同じです。自分たちのまわりにあつて当たり前のものであっても、他のまちの人からすれば羨ましいまちの特色・強みと思われるものも少なくありません。そのことを今一度、意識しながらまちづくりを生かしていくかなければなあと考えさせてくれたみかんの花の香りでした。

有田市長 望月 良男

生活環境課（内線 229）

## 第17回 有田川クリーン作戦



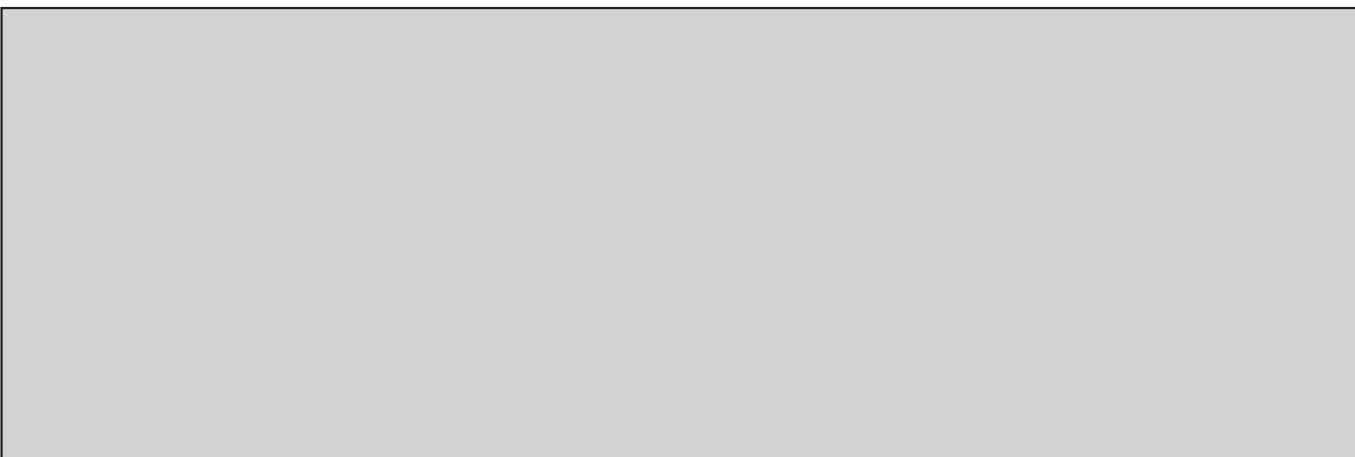
有田川クリーン作戦は、今年で17回目となります。一人ひとりが環境美化に取り組むことで、美化意識の向上を図り、自分たちの住む有田市を美しいまちにしましょう。

今年も多くの皆様のご参加・ご協力をお願いいたします。

集合場所については、お住まいの自治会等にお問合せください。

**実施日**／7月6日（日）午前7時〜小雨決行  
※悪天候により中止する場合は放送でお知らせします。

市収入の一部とするため有料広告を掲載しています。



この広報紙は地球環境保護のために、再生紙と植物油インクを使用しています。